

＜先端部エコツアー＞

北海道目梨郡羅臼町本町 361-1

知床羅臼町観光協会（担当：池上美穂）TEL:0153-87-3360

1. 提案内容

キャッチコピー・目的	知床半島先端部での限定的なエコツアーを行うことで、知床における人と自然の関わり合いについての理解を促進するとともに、世界自然遺産区域の核心部の自然を体感させる。
背景・理由	<p>知床半島先端部地区は、一般観光やレクリエーション目的の動力船による上陸が認められておらず（「知床岬地区の利用規制指導に関する申し合わせ」）、全く人の立ち入らないイメージがあるが、羅臼町側の海岸線では 70 年以上前からコンブ漁が行われ、50 代以上の地元住民は岬などでの漁労活動を経験しており、知床の自然についての体験を自らの経験から語る事ができる。しかし、先端部地区の漁家は年々減少しており、この地区での漁労活動そのものが見られなくなる可能性があり、先端部地区の自然や歴史を知らない地元住民が増えつつある。</p> <p>観光客並びに地元住民に対して伝統的に続く羅臼の漁業活動を現地で紹介し、知床における人と自然の関わり合いや共生の歴史を後世に伝え継承してゆく必要がある。知床の豊かな海の生態系に支えられて、原生的自然環境の中で生活しながら家族単位で営まれていた、漁業と自然との共生の歴史を町内外に伝えていきたい。</p>
具体的提案内容	<p>船外機船（3t 未満：定員 10 名程度）を活用した先端部のエコツアーを実施する。漁業活動の解説・周辺の自然の紹介をプログラムの中心とする。</p> <p>ツアーは日帰りとし、漁業の伝承と環境保全に細心の注意を払うためガイド付きを前提とし、上陸場所（羅臼側の先端部地区私有地を想定）、ツアー参加人数、回数、行動範囲等を制限し、実施期間をコンブ漁期とする。</p> <p>悪天候等で退避が必要な場合は私有の番屋を利用する。</p>

2. 戦略の基本原則との対応

①遺産地域の自然環境の保全とその価値の向上	<p>漁業活動の紹介は磯浜で行われるため植生への影響はなく、世界自然遺産知床の核心部の自然を体感させることで、守るべき知床の価値や重要性を認識できる。</p>
②世界の観光客への知床らしい良質な自然体験の提供	<p>ガイドが知床で伝統的に行われてきた漁業活動を現地で紹介することで、知床における人と自然の関わり合いを理解してもらえ、より質の高い自然体験の提供に繋がる。</p>
③持続可能な地域社会と経済の構築	<p>新たなツアーの開発はガイド事業者や宿泊施設の収入につながるため、地域社会と経済に貢献できる。自然環境保全への理解者を増やすとともに、エコツアー催行による利益を更なる伝承と環境の保全に役立てる。</p>

3. 検討部会の想定メンバー

関係行政機関	釧路自然環境事務所、北海道森林管理局、斜里町、羅臼町
地域関係団体	知床ガイド協議会、知床エコツアー推進協議会、羅臼町・知床世界自然遺産協議会、羅臼漁業協同組合、羅臼遊漁釣り部会 知床羅臼町観光協会

